

しまねレクリエーションフェスティバル（松江会場）

日 時；平成29年8月19日（土）13:00~16:00

会 場；松江市総合体育館（松江市）

スポーツくじ



今年度のオープニングを飾ったのは、シッティングバレーボール！
シッティングバレーボールは、すわったまま（＝シッティング）行うバレーボールのことです。
床におしりをつけたままボールを落とさないよう、手や腕でボールを打ち合い、相手チームと
得点を競います。

【シッティングバレーボールの歴史】

シッティングバレーボールが生まれたのは1956（年昭和31年）。戦争によって体が不自由になってしまったオランダの人々が、リハビリとして始めたのがきっかけです。翌年の1957年（昭和32年）には、大会が開催され、ルールやコートの高さ、ネットの高さが決まりました。また、1980年（昭和55年）にはパラリンピックの正式種目となり、世界中の人に知れ渡るスポーツとなりました。

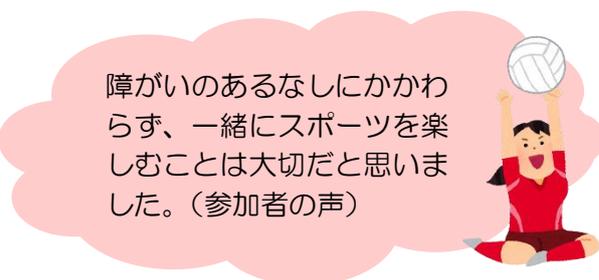
日本では、1992年（平成4年）にシッティングバレーボールのチームが結成され、世界選手権やパラリンピックで入賞を果たしています。

北京やロンドンのパラリンピックに出場された日本代表選手の反応の速さやバシッとボールを打つスパイク音に、観客から驚きの声と大きな拍手がわき起こりました。

デモンストレーションの後は、代表選手と参加者が一緒に行う体験会です。シッティングバレーボールの特色として、

「サーブやブロック、アタックなど行うときに、おしりを床からはなすと反則になり、相手の得点となる」

というルールがあり、参加者は悪戦苦闘しながら、シッティングバレーボールのスゴさを体感していました。



障がいのあるなしにかかわらず、一緒にスポーツを楽しむことは大切だと思います。（参加者の声）



【松江シティFCの選手に挑戦】



【車いすバドミントン】



【スラックライン】



【デッキスティックゲーム】



【スカットボール】



【キンボール】



【ラダーゲッター】



【スポーツ吹矢】



【ガラポン抽選会】

